

- [成果情報名] スプレータイプの切り花用カーネーション新品種「伊豆 17 号」、「伊豆 18 号」
- [要 約] 交配により切り花用スプレーカーネーションの「伊豆 17 号」及び「伊豆 18 号」を育成した。
- [キーワード] カーネーション、新品種、スプレー
- [担当] 静岡農林技研・伊豆研セ・栽培育種科
- [連絡先] 電話 0557-95-2341、電子メール agriizu@pref. shizuoka. lg. jp
- [区分] 野菜・花き（花き）
- [分類] 技術・普及
-

[背景・ねらい]

カーネーションは伊豆地域の特産花きであるが、海外育成品種の定植苗を種苗業者から購入しており、種苗費の経営に占める割合が大きい。このため、現地で主に作付されているスプレーカーネーションについて、本県オリジナル品種を育成し、産地の市場性向上と生産者の経営安定を図る。

[成果の内容・特徴]

- 育成経過：2007 年度に静岡県農林技術研究所伊豆農業研究センター南伊豆圃場（賀茂郡南伊豆町）において、センター育成系統「06-2-30」（桃）を種子親に、「06-15-12」（緑に桃の覆輪）を花粉親として交配、選抜した個体に「07-10-1」の系統名を付与した。同時期に育成系統「06-14-8」（赤）を種子親に、「06-12-2」（紫）を花粉親として交配、選抜した個体に「07-26-5」の系統名を付与した。2009 年度に二次選抜、2010 年度に三次選抜及び現地適応性試験を行い、有望性が確認できたことから「07-10-1」を「伊豆 17 号」、「07-26-5」を「伊豆 18 号」として育成を完了した。
- 生育特性：「伊豆 17 号」は淡桃（日本園芸植物標準色票 0102）の八重咲きで「ライトピンクバーバラ」よりやや早く開花する。6～7 月に定植する施設栽培の早い切り花でも、茎が強く草姿が良いため切り花用に適する。「伊豆 18 号」は鮮紅（日本園芸植物色票 0107）の八重咲きで「ライトピンクバーバラ」よりもやや早く開花する。早い切り花でも茎が強く草姿が良く、栽培期間中の採花本数も多いため切り花用に適する。「伊豆 18 号」は外縁部の花卉に緑色の筋が入ることがある。
- 現地適応性：「伊豆 17 号」「伊豆 18 号」は現地での雨当て栽培において、11 月上旬から開花が始まり、草姿が良く、採花本数が多いことが評価された。

[成果の活用面・留意点]

- 暖地における 6 月～7 月定植、1 年切り施設栽培の作型に適する。
- 種苗法による品種登録を出願予定であり、栽培に当たっては静岡県との許諾契約が必要である。

[具体的データ]

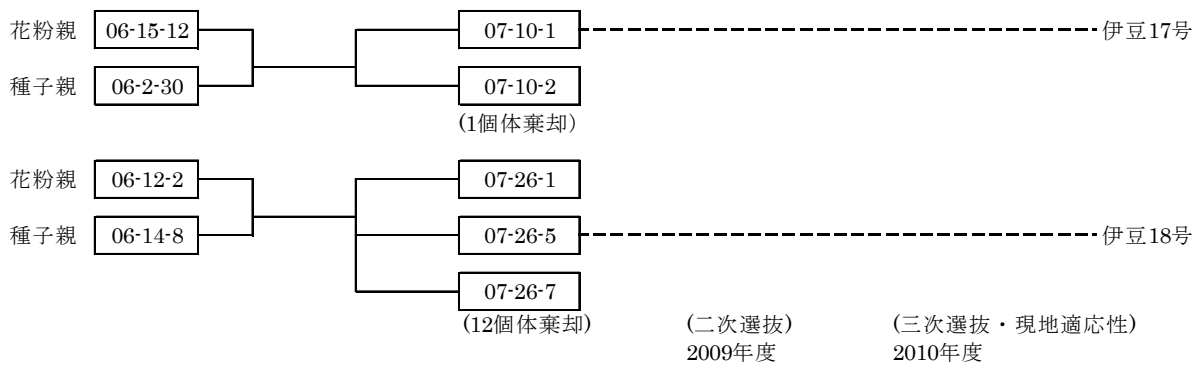


図1 「伊豆17号」「伊豆18号」の育成系統図

表1 「伊豆17号」「伊豆18号」の生育開花特性（2010年度）

系統名	花色	重ね	採花開始時期	時期別採花本数(本/株)				上物率 ^z (%)	下物率(%)			切り花長 ^v	総合評価 ^u
				～12月	1～3月	4～5月	合計		軟弱 ^y	花少 ^x	短茎 ^w		
伊豆17号(07-10-1)	淡桃	八重	10下	1.5	3.8	2.0	7.3	94	6	0	0	中	○
伊豆18号(07-26-5)	鮮紅	八重	10下	1.4	3.8	3.9	9.1	95	3	2	0	長	○
ライトピンクバーバラ(対照)	淡桃	八重	11上	2.7	2.6	2.3	7.6	87	10	0	3	中	

^z 商品として販売可能な切り花の割合 ^y 下垂度が1以上の切り花の割合
^x 側花数が3輪未満の切り花の割合 ^w 切り花長が40cm未満の切り花の割合
^v 上物の切り花長で70cm以上の切り花が60%以上:長, 30～60%未満:中, 30%未満:短
^u ○:有望

表2 「伊豆17号」「伊豆18号」の現地における生育特性（2010年度）

系統番号	花色	重ね	採花開始時期	早晩性 ^z	茎の ^y 堅さ	草丈 ^x	下芽の ^w 多さ	側花数 ^v	花型の長さ	総合評価 ^u
伊豆17号(07-10-1)	淡桃	八重	12中	中	中	中	中	中	中	○
伊豆18号(07-26-5)	鮮紅	八重	12下	中	堅	長	中	中	長	○

^z 早, 中, 晩の3段階評価 ^y 堅, 中, 軟の3段階評価, 2010年11月調査
^x 長, 中, 短の3段階評価, 2010年11月および2011年3月調査 ^w 株基の側枝数, 多, 中, 少の3段階, 2010年11月調査
^v 側花数, 多, 中, 少の3段階評価, 2010年11月調査
^u 花卉研究会(JA伊豆太陽, JA伊豆の国, JA静岡経済連, 賀茂農林事務所, 伊豆農業研究センター)による評価



図2 「伊豆17号」「伊豆18号」の側花及び切り花

(左 「ライトピンクバーバラ」、中央「伊豆17号」、右「伊豆18号」)

[その他]

研究課題名: 養分吸収特性に即したカーネーション灌水同時施肥栽培体系の確立と有望品種の育成選抜

予算区分: 県単

研究期間: 2006～2010年度

研究担当者: 馬場富二夫、稲葉善太郎